

(仮称) 大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業 コンセプト募集の応募状況及び総評

1. 応募状況

(1) 応募者数

3者

(2) 応募企業又は代表企業の名称（五十音順）

- ・MGMリゾート・インターナショナル／オリックス株式会社
- ・Galaxy Entertainment Japan 株式会社
- ・ゲンティン・シンガポール・リミテッド

2. 提案内容の総評

オーシャンフロントの立地や眺望、広大な土地を活かした施設配置、アイコニックなデザインの建築物等、大阪の新たなランドマークとなりうる魅力的なコンセプトが各社から提案された。

また、大阪IR基本構想（案）で示している想定事業モデルにおける投資規模（9,300億円）を上回る提案がなされるなど、十分な参画・投資意欲が確認できた。

具体的な項目ごとの提案の概要は次のとおりであった。

(1) 中核施設の設置・運営等

① MICE施設

- ・最大国際会議室6,000人以上かつ会議場全体で12,000人以上が収容可能な国際会議場と展示面積10万㎡以上の展示等施設が一体的に配置されたMICE拠点
- ・学会等による国際会議やグローバル企業のレセプションパーティーなど、多種多様な催事に対応できる機能を有する国際会議場
- ・BtoB（企業向け）展示会、BtoC（消費者向け）展示会、その他の大規模イベント等、幅広い催事が開催可能な展示等施設
- ・可動間仕切りを利用した大規模な一体利用空間を備えた展示ホール
- ・飲食・物販施設や宿泊施設、エンターテイメント施設等との良好なアクセスが確保された回遊動線
- ・1日数万人の来場者が見込まれる施設であることに配慮された滞留空間の確保
- ・アフターコンベンションプログラムの提供やユニークベニューの活用によるMICEデスティネーションの創出
- ・産業振興・ビジネス創出につながる国際会議・展示会の誘致などの取組方針やオール大阪での誘致体制への協力に関する取組み

② 魅力増進施設

- ・世界中からの来訪者が大阪・関西・日本の伝統・文化・芸術と出会い、体験できる施設・サービスの提供
- ・展示や公演、鑑賞、消費等、コンテンツに適した手法による観光魅力の効果的な発信
- ・最先端技術の活用等による集客力確保に向けた工夫
- ・常識にとらわれない発想による大阪独自のコンテンツの創造
- ・来訪者のニーズや流行等の変化を踏まえた継続的なコンテンツ・サービス等の進化

③ 送客施設

- ・日本各地へのツアーの企画・提案や、ワンストップサービスによるゲートウェイの形成
- ・VRやARなどを活用した臨場感あふれる手法により観光情報を発信するショーケース機能を備えた送客施設
- ・魅力増進施設と連携したコンテンツ・サービスの提供による効果的な送客及び広域観光振興
- ・来訪者ひとりひとりのニーズに応じたオーダーメイドの企画旅行提案・情報提供等を行うコンシェルジュサービス
- ・IR区域内におけるバスアクセス拠点の整備等によるIR施設へのアクセス強化

④ 宿泊施設

- ・ファミリー層や富裕層まで多様なニーズに対応できる3,000室以上の宿泊施設
- ・国内外の富裕層の来訪を促進する世界水準のスイートルームを備えた宿泊施設
- ・オーシャンフロントの立地・眺望などの非日常を感じられる滞在環境の工夫
- ・高品質なサービス提供等によるブランド価値の高い滞在環境の創出

(2) 中核施設以外の施設の設置・運営等

① 国際競争力を有するリゾート形成

- ・非日常を感じられる独創的な都市景観等の実現
- ・夢洲の玄関口に相応しいシンボリックなエントランス広場
- ・誰もがエンターテイメントを楽しめる屋外空間
- ・オーシャンフロントの立地・眺望を活かしたウォーターフロント空間の整備

② エンターテイメント拠点の形成

- ・ビジネス客からファミリー層まであらゆる人のニーズに合わせて多彩なエンターテイメントを満喫できる施設・空間形成
- ・夜のにぎわいを生み出す最新の技術・演出によるナイトエンターテイメントの創出

- ・ I R の魅力を高め、世界中から来訪者を呼び込む世界的なショーやコンサートの開催

③ 交通アクセス拠点の形成

- ・ バスアクセス拠点の整備等による I R 施設へのアクセス強化及び送客機能の拡充

④ 質の高い飲食・物販・サービス等の提供

- ・ 日本・大阪の食文化や最高級の料理が味わえるレストランやあらゆる来訪者の好奇心を満たすショッピングモール
- ・ 質の高い施設及びサービスの提供による I R 全体の快適性や満足度の向上
- ・ 多言語対応やバリアフリーに加え、多様な宗教、文化等に配慮したサービスの提供

(3) I R の魅力・持続可能性を高める取組み

- ・ エネルギーマネジメントや ICT を活用したデータの利活用によるスマートなまちづくり
- ・ 多言語対応のデジタルサイネージ・インフォメーションセンターの設置や多様な宗教・文化に配慮したサービスの提供による訪日外国人旅行者が快適に滞在できる環境整備
- ・ 安全で快適な歩行者動線計画による I R 予定区域内の回遊性の向上
- ・ 周辺道路の交通状況に配慮した区域内通路、建物配置、駐車場計画による円滑な交通処理の実現
- ・ 大阪府・市及び経済界と連携した地域経済・地域社会の発展に向けた取組みや地域との積極的な連携・協力・交流による地元貢献
- ・ 女性・シニア層などの多様な人材が活躍できる雇用環境の確保
- ・ 従業員教育等を通じた質の高いサービスの提供やグローバルな観光人材の育成・輩出
- ・ 事業継続計画（BCP）の策定や帰宅困難者対策による来訪者の安全確保、訪日外国人への多言語対応を含む災害時における来訪者への迅速な情報提供等、事前・事中・事後の全過程を通じた防災対策

(4) 懸念事項対策

① ギャンブル依存症対策

- ・ 既存のカジノ施設における具体的な取組内容の提示に加え、現段階で想定している積極的な依存症対策への取組方針
- ・ 国及び大阪府・市との密接な連携、施策への協力
- ・ 相談窓口の案内や啓発資材の配布など、予防啓発の推進
- ・ 最先端の ICT 技術を活用するなど、カジノ施設の厳格な入場管理の工夫

- ・問題のあるギャンブル行動を行う傾向にある者の発見に努め、注意喚起や助言、警告などを実施
- ・依存症対策に関する従業員トレーニング

② 治安・地域風俗環境対策

- ・大阪府・市及び警察等との連携による協力体制の構築
- ・先端技術を活用した自主警備・自主防犯の徹底及び体制の整備
- ・I R施設内の高性能な防犯カメラの設置及び集中管理

(5) 事業スケジュール

事業者として想定する具体的な設計・建設期間が示されるとともに、埋立てやインフラ整備状況等を踏まえたスケジュール案が示された。

また、夢洲において重複して実施することとなる万博工事、インフラ工事との調整やその影響を考慮する必要があるとの意見があった。

3. 今後の取組み

RFCにおける提案内容や国の基本方針案等を踏まえ、速やかに事業者公募・選定を実施し、大阪・夢洲への早期の世界最高水準のI R実現に向けて取り組む。